

第2回関西学連総会 議事録

【開催日時】2024年06月07日(日曜日) 10:00~12:00

【開催場所】大阪市北区万歳町1-11 (Zoom 併用)

【議事録作成者】副幹事長 奥村友香(大阪大学) 柿本源心(京都大学)

【出席者】(敬称略)

野田晃司、森田歩暉、斎藤夢、藤田真央、柿本源心、門井愛子、
神田潤一、飯田敬博、内藤慶、吉野舞桜、根岸歩可(以上対面)

【目次】

1. 壮行会規則変更
2. ロングセレ規約変更
3. SI購入(関西学連備品の充実)or新入生補助
4. 普及活動について

1. 壮行会規則変更

野田	今年の一定(主催:京京立、主管:関西学連)で京京立の選手(3名)のみの壮行会を兼ねる話になっていた。関西学連の事業なので、関西の選手として阪神奈の選手(2名)も壮行するべきだという意見が幹事会で出たため、その旨を一定実行委員会にメールしたが、返信がなかった。
	当日は、阪神奈の選手の壮行も行われていたので、関西学連の事業として問題はないとの認識だが、遠征費の補助を一定利益から出すということで、どうするか
	事前に提出してもらった予算案には、遠征補助は含まれていなかったもので、関西学連として規約的には承認ができないのが現状。ただ、今回イレギュラーで一定の利益を遠征費に充てること自体は問題はない認識。その配分をどうするのか。
	代表選手が京京立が3名、阪神奈が2名なので、純利益の3/5を主催者側に、2/5を主管側に分配し、阪神奈の選手の遠征費補助は主管側から出すことで手を打とうと思う。規約では、主催:主管=3:2なので、イレギュラーにはなる。
	これについて何か意見はあるか
なし	

野田	関西学連の規約に壮行会を併設する際のルールをきちんと設けようと幹事から意見があった。問題点を整理してもらった。
	関西学連の事業であることを厳格化、明記する 代表選手が決まる時期と予算案の提出時期にはずれがあるので、そのルールを明確化していくべき
	具体的にどういうルール、明文にするのかはのちのち決めていく。二定までに決めたい。
	この議題について何か意見はあるか？
飯田	関西学連の利益を一部の大学の選手に渡すことの方がまずいのでは？
野田	その通りではあるが、平等性を大事にしたい。今回は例外でルール違反になるが、今後はこのようなことはないと思ってもらいたい。そのためにルールを明確化していく。
飯田	そもそも壮行会が代表選手に利益を渡すものである必要性はないのではという気がする。応援をベースにして、利益は主催者が自由にすればよいのでは？
野田	遠征費を補助するための定例戦ではない。あくまで併設。明文化していく際に、利益の一部とすることはできる。
	今回はもう終わってしまったことなので、どうしようもない。最初から制度があれば起きない問題。
	明文化していく作業に入った時に、また議論していこうと思う。
	今回の件に関してこの方針でよいか？
合意	

2.ロングセレ規約変更

野田	先日、ロングセレについての通知書を回し投票し結果を得た。立命の渉外から意見があった。
	指摘1については、表現上の問題なので指摘通りに修正する。問題がなければ、このまま進めていこうと思う。最終的な規約の変更は、総会の承認をとることになる。
	方針としては、一番大きな指摘3の承認をもって、総会の承認とする。公表は、後日、渉外を通じて各校に行く。
	指摘1→書く場所が間違っている 指摘2→日本語があいまいで誤解を招きやすいので、より詳しく規定する。 指摘3→配置が間違っているの正す→後日確認を
	関連資料は各自確認

	一番大きな議題 →スプセレの改定(JOCの代表選手分だけ推薦枠を増やす)をロングセレでも適応するべきではないかという意見があった。
	経緯の説明
	対応策 →①ロングセレ実施基準に追記する ②今後もその都度対応を検討して多数決で推薦枠の数を決める の二つの案がある これに関して何か意見はあるか？
野田	②は、事務的にも大変な上、セレが開催できなかった時の代替大会の選定の方が大切だと思うので①がいいと思う。
斎藤	①はよいと思うが、もしもJWOC代表選手が多く出てきた場合、ほとんどが推薦枠で埋まってしまうことになりかねないため、推薦枠の上限を決めるべきではないか
野田	確かに。 大半が推薦枠となると、セレクションの意義がなくなる
他意見なし	
野田	投票を行い、再度検討する。
	適用は来年度からとなると思うので、具体的に動くのはスプセレ後に持ち越し
合意	

3.SI購入(関西学連備品の充実) or 新入生補助

野田	関西学連の予算が400万円ほど。そのうち200万円くらいはロングかミドルのテレインの修正に使う。残りの200万円を学連が持っている理由はないのでどう使うか
	何とか加盟員に還元できないかという話が昨年からある。昨年は、テレインリメイクをしようとしたが、渉外上の理由などから上手くいかなかった。テレインリメイクは、中止、延期の形で終わった。 今年度はどうするか？
	提案①新入生に還元 ②SI購入(SIかSIACか)
斎藤	新歓アンケートの結果から見ると、新人がお金に困っているのは確かであるがそれ以上に日程公開が遅いことの方が大きそう。①をしてもそこまで新人の参加率は変わらないのではないか
藤田	新人だけではなく、旧人にも全加盟員に行き届くようにした方がいいのでは？
野田	全加盟員になると、一回分の参加費を出すのが限界。一回きりの援助で

	オリエンにもっと参加しようとなるとは考えづらい？
	やみくもにお金を配るのではなく、きちんと目的をもって行うべき
	SIだと一回300円なので、仮に一人あたり3000円充てられるとしたら、年に10回補助が出せるので、継続的に支援ができる。
斎藤	継続的にのほうがよさそう
野田	近年、SIを使用する大会が増えた。SIはEカードに比べ持っている人が少ないので、少なくとも今年はSIでよいのでは
	別の案としては、柵などの備品購入。関西学連の持っている備品は少ない。
斎藤	ユニットの購入はどうか
野田	阪神奈の現状はどんな感じ？京京立は、何とか足りてはいるが壊れて来ているものも
神田	合宿では、府協会に借りるが、Eカードとセットで借りるとお金がかからない。 SIの方が、還元が参加者には目に見えて分かりやすいのでよいのではないか
斎藤	同感
野田	Siスタンドがほしいとかはあるか？Siがいいのか、Siスタンドのように運営や練習会で使うのが良いのか
森田	Si
野田	では、Siの方向でいくとしたとき、SiとSIACだとどっちがよいか？ SIACはバッテリーが搭載しているので寿命がある。スプセレやランキング大会で使用されることが多い。SIは磁気なので半永久的に使用可能。
	案としては、半分ずつ買う。具体的な数は、会計のシミュレーションが必要になる。
斎藤	SIの方が使える回数的に多いので還元率が高くなると思う。
野田	公平性からSIACだとセレクションを賄える分が必要になり、数が多くなるのでSIの方が良いか
	SIACとSIを何枚買えるかのシミュレーションを根岸さんをお願いします。出来れば各大学の参加者数をスタートリストで確認してほしい。
根岸	分かりました。
野田	期限は特にない。今年中を目安に。
	参加費の補助の話は今回はなしということで
斎藤	SIの貸し出しは、学連員が申請して借りるということ？ 大会に貸し出すということ？

野田	あらかじめ阪神奈と京京立に加盟員の人数比に応じて振り分けておくことを想定
----	--------------------------------------

4.普及活動について

斎藤	前回の総会で出た、高校生を定例戦に招待するというのを具体的にどのようにしていくか。
	今考えている対象としては、関西在住かつ森や山に慣れている方を考えている。その友達まで受け入れるか？
	受け入れないとすると参加ハードルが上がってしまうので受け入れるのでもいいのではないか。デメリットとしては、山に慣れていない人が来るリスク。
	予算は、5万円程で考えている。過去のフォレストの定例戦の参加費から考えて、一人あたり900円以上になることはなさそう。30~50人と想定してMAXでも5万円いかないかなと。宣伝用のチラシに関しては、カラーの片面印刷で1万円行かないだろう。もちろん配布枚数にはよる。最終的に5万で収まるか。
	招待者何名か、チラシをどこにどれだけ配るのかを整理していきたい。
野田	教育委員会の後援は取れそうか？
斎藤	まだ何も渉外していない。場所が決まっていないので
野田	そうですね。ただ、後援とるなら早めにとっておいた方が動きやすいのでは。
	チラシのデザインや内容は決めているか？広報部長や副幹事長などと合同でも全然OK
	参加費は、大会側として高校生無料とするのではなく、関西学連が高校生の分の参加費を立て替える形。
	実際、効果はどれくらいあるのだろうか？
斎藤	読めないですね
野田	山岳部にオリエンを普及する感じ
斎藤	名前を知ってもらっただけでも意味があるのではないか
神田	山岳部等の部活の設置率はどのくらいなのか疑問
斎藤	たしかに。山岳部がある学校のみ配るのではなくすべての学校に数十枚ずつ配る方が分かりやすいか
野田	実際教育委員会は協力してくれるものなのか。無理なら各校に郵送していくことになるが、厳しい。
斎藤	分からないがそういうシステムは存在はする。ただ、郵送料は請求される。

野田	予算は大丈夫か
斎藤	100円だとして100校で1万円なので大丈夫そう
根岸	もし反響が良かったとき、この先ずっとマイナスになり続ける？
野田	確かに。でもその分学連登録費が増えると考えられる。きちんと費用対効果を考える必要はある。
	とりあえずこの方向で進めていきましょう。

5.連絡事項

野田	一定の会計はまだ提出されていない
	ロングセレの会計もまだ提出されていない。